東海大学大学院
医学研究科

教員紹介

領域（医学部組織）
消化器外科学

専門分野キーワード

教 員 氏 名	中村　健司（なかむら　けんじ）
取 得 学 位	博士（医学）
現在の身分（役職名）	准教授
専 門 分 野	消化器外科学
現在の研究課題	進行胃癌における予後因子の検討、進行胃癌に対する集学的治療
所 属 学 会	日本外科学会、日本外科系連合学会、日本消化器外科学会、日本消化器病学会、日本消化管学会、日本癌治療学会、日本胃癌学会

研究内容

胃癌治療ガイドラインでは、リンパ節転移のない固有筋層浸潤胃癌や漿膜下層浸潤胃癌では、術後補助化学療法の適応とはなっていません。しかしこのグループにも再発症例が存在し、一度再発してしまうとその予後は極めて不良です。われわれは、このグループの臨床病理学的所見を再評価し、予後因子の検索に努めています。また再発症例においては、免疫チェックポイント阻害剤であるニボルマブの効果予測因子について検討しています。

主要論文

1. Nakamura K, et al. Clinical implication of tumor-invasive status into the muscularis propria in T2 gastric cancer. In Vivo. 2019, 33(4), 1341-1346.

2. Nakamura K, et al. Clinical implication of the width of subserosal invasion in T3N0 gastric cancer. In Vivo. 2017, 31(3), 409-413.

3. Nakamura K, et al. Clinicopathologic features and clinical outcomes of gastric cancer patients with bone metastasis. Tokai J Exp Clin Med. 2014, 39(4), 193-198,

4. Nakamura K, et al. Prognostic significance of morphological distribution of metastatic foci in lymph nodes with gastric cancer. Dig Surg. 2011, 28, 309-314.

5. Nakamura K, et al. Impact of difference in the definition of extranodal spread on the outcome of node-positive patients with gastric cancer. Langenbecks Arch Surg. 2010, 395, 211-216.

Copyright (C) 2020 東海大学大学院医学研究科. All Rights Reserved.